



3000円で
一本のオリーブを
植えられます。

パレスチナに オリーブの木を

オリーブの木を贈って、パレスチナでの
平和構築の働きに連帯しませんか。

私たち日本のYMCAは、誰もが安心して暮らし、学び、働き、友と語り、夢を追いかけ、お互いを理解しあう、そんな当たり前の社会がパレスチナに実現することをめざしています。そのために地元農家の人々と共にオリーブの木を植えて暮らしを支え、土地・家屋の収用などイスラエルの不当な扱いに抵抗の意思を示す現地のYMCA・YWCAの活動を支援しています。

東エルサレムYMCAとパレスチナYWCAによって2002年から始められたこの活動では、世界各地からの支援により109,550本のオリーブの木が植えられました。そのうち1,000本以上が日本のYMCAを通して贈られた木です。

Keep Hope Alive 正義ある平和の実現のために



パレスチナの人々は
学び 仕事 遊びの場
友達との語らい
礼拝の場
土地や家 オリーブ畑
大切な人
という暮らしを
奪われています。

オリーブ = 抵抗のシンボル

パレスチナではオリーブは「生命の木」とも言われ大切に育てられ、現在8万世帯がオリーブによって生計を立てています。しかしイスラエル入植地の拡大により50万本以上が根こそぎ引き抜かれ、今も1年間で1万本以上が抜かれています。(国連調査より)

イスラエルの圧力に対して強い意志を持って抵抗し続けるパレスチナの人々の姿は、根を張り力強く成長するオリーブの木の姿に重なります。オリーブを植えることで自分たちの土地を主張し、不当な扱いに抵抗するシンボルになっています。



払 込 取 扱 票

00	東京	口座記号番号										金額	千	百	十	万	千	百	十	円
0	0	1	9	0	6	4	6	4	2	3	6	※								
加入者名	日本YMCA同盟地域国際募金口											料金		備考						
ご依頼人	*通信欄 「オリーブの木 キャンペーン」 一口 3,000円 × 口 = 円 パレスチナ難民支援指定募金として 円 合計 円																			
ご住所	お名前 (日本語) (ローマ字)											TEL	()							
所属YMCA・ワイズメンズクラブ・学校・教会他												日								
裏面の注意事項をお読みください。(ゆうちょ銀行)(承認番号東第46093号) これより下部には何も記入しないでください。												印								

振替払込請求書兼受領証

口座記号番号	0	0	1	9	0	6	4	6	4	2	3	6
加入者名	日本YMCA同盟地域国際募金口											
金額	千	百	十	万	千	百	十	円				
ご依頼人	おなまえ 様											
料金	(消費税込み) 日 附 印											
備考	円											

*現地にお名前をお知らせしますので、ローマ字を必ずご記入ください。
*パレスチナ難民支援募金も受け付けています。

記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押してください。
切り取らないでお出ください。

この受領証は、大切に保管してください。





子ども達とパレスチナの未来のために働き、外国人観光客に語り続けるというタグリー



高さ 8 メートル長さ 700 キロメートルにも及ぶ分離壁。これによってパレスチナの人々の生活が分断されている

私はドイツ語を教えながらフルーツやオリーブの栽培で生計を立て、夫と6人の子どもと暮らしています。しかし状況が厳しく観光客向けの料理教室も始めました。

村のそばにはイスラエルの入植地と軍事基地があり、まるで牢獄のようです。インターネットや電話はイスラエルのためだけにあり、イスラエル市民や警察からは嫌がらせを受けます。検問所で銃を持つイスラエル兵を登下校中の子ども達が怖がっています。しかしあきらめません。ここは私たちの土地です。でも、来る人は誰でも、たとえユダヤ(イスラエル)の人々でも歓迎します。しかしイスラエル政府と市民の間違った理解やひどい扱いは認めません。人々が政府を支持しないことを望みます。

テコア村 タグリー

	パレスチナの地にユダヤ教、キリスト教とイスラム教の人びとが共に暮らす。
約 100 年前	ヨーロッパでのユダヤ人迫害によりイスラエル国家設立運動が高まる。
1930年代 ~1945年	ナチスによるユダヤ人迫害。
1947年	国連総会でパレスチナをアラブとユダヤの国家に分ける決議を採択。
1948年	パレスチナの地にイスラエルが強引に建国。パレスチナの村が破壊され、70 万人の難民が出た。
1967年	第三次中東戦争。ガザ地区、東エルサレムを含むヨルダン川西岸の占領が始まる。
1993年	オスロ合意。翌年、パレスチナ暫定自治政府が設立 (ガザ地区・ヨルダン川西岸)。
~現在	イスラエルの入植者増大。高さ 8 メートルの分離壁建設⇒事実上の境界線となり人々の生活を分断している。移動の制限、不当な拘禁・逮捕、土地家屋の強制収用などの人権侵害が続く。
2006年 2008-2009年 2014年	イスラエルによるガザ地区攻撃



現地東エルサレムYMCA・パレスチナYWCAからのメッセージ

この 12 年間で世界各国の 9986 組の支援によりおよそ 109,550 本を植樹しました。2014~2015 年は 925 組から 11,550 本のオリーブの木を支援いただき、245 組の農家が支援者と共にオリーブの植樹や収穫を行うことができました。感謝申し上げます。来年は 1 万本をラマラに植える予定です。

皆様のサポートで様々なプログラムを実施しています。パレスチナに希望の火が灯し続けられるよう引き続きご支援ください。



寄付者の名前がオリーブの苗木のそばに刻まれます



公益財団法人
日本YMCA同盟

〒160-0003

東京都新宿区本塩町 7 番地

T E L 03-5367-6640

F A X 03-5367-6641

MAIL: info@ymcajapan.org

URL: http://www.ymcajapan.org

(ご注意)

- ・この用紙は、機械で処理しますので、金額を記入する際は、枠内にはっきりと記入してください。また、本票を汚したり、折り曲げたりしないでください。
- ・この用紙は、ゆうちょ銀行又は郵便局の払込機能付き A T M でもご利用いただけます。
- ・この払込書を、ゆうちょ銀行又は郵便局の渉外員にお預けになるときは、引換えに預り証を必ずお受け取りください。
- ・この用紙による、払込料金は、ご依頼様が負担することとなります。
- ・ご依頼様からご提出いただきました払込書に記載されたおと、おなまえ等は、加入者様に通知されます。
- ・この受領証は、払込みの証拠となるものですから大切に保管してください。



募金 1 口 3,000 円で

オリーブの木 1 本を贈ることができます

- ・この募金はパレスチナ・東エルサレムYMCAのオリーブ植樹プログラムに寄付されます。
- ・お振込の際は本払込取扱票を切り取ってご利用ください。
- ・お振込の際にお手元に残ります受領証を領収書とさせていただきます。
- ・ご寄付いただきました方には証明書が発行されます。(振込用紙にローマ字表記のお名前を必ずご記入ください。)
- ・オリーブの木キャンペーンのほか、パレスチナ難民支援募金も受け付けております。

払込手数料はご負担くださいますようお願いいたします。この払込取扱票の裏面には、何も記載しないでください。